

第14回 奥多摩日の出山

第1支部 榊乾商会
乾 洋介

平成15年7月27日(日) 曇

年に4回のハイキングは年間の私の恒例行事にすっかり組み込まれ、大事な他の用事も押し退けて、もはや不動の存在となっています。同じ山に行かないように山を選んでいますが、日本はさすがに山国で、山また山ばかりです。当会の山のストックも向こう50年は安泰とっております。この分で行きますと西暦2024年の暮には100回記念を行うことになり、それを考えると夜も寝られなくなります、死んでも長生きしたいものだと考える昨今です。

さて今回の報告です。参加者は幹事の東邦化成の磯部さん、井上塗料の小野寺さん、丁子屋塗料の秦さん、上田の原さん夫妻、森商事の森さん、若林商店の若林さん夫妻と私乾商会の乾の合計9名です。

今回のハイキングは原さん夫妻と森さんが御嶽山側からケーブルを使って、日の出山に登り、他の6名が五日市の駅から歩いて頂上にて合流する計画になりました。精鋭6名は足取りも怪しげに8:40分に五日市駅を後にしました。途中の金時公園という展望台では遠く新宿の高層ビル群や、横浜のランドマークタワー、手前には西武ドームと曇の天気ながら素晴らしい景色です。道は林の中を行きますが、だらだらの登りがいつまでも続いて、歩きやすい道です。外人のマウンテンバイクが何台も通ったり、山道を走る人が何人もいたり、どうも何でもありの山のようです。歩いている我々は異色の存在です。最後の急な階段状を切り切ると、日の出山の山頂に着きました。森さんと原さん夫妻は既に着いており、缶ビールなどを飲んでいました。私が着いた後、一人一人ばらばらにゼーハーと息もたえだえに登ってくる姿がなんともユーモラスでした。

早く着いた人たちはすぐに温泉に行こうと言い、最後に着いた若林さん夫妻はまだ休憩もしていないとダダをこねましたが、民主的に多数意見を尊重してまもなく頂上を後にしました。今回ケーブル組の森さんは殆ど歩いていないために、いやに元気に先頭を切っていました、何とも次回が心配です。

下りたところが“つるつる温泉”というクアハウスで、大枚800円を払い、汗を流しました。我々が風呂から出たころ、若林さんが到着し、全員無事に下山しました。お疲れのご様子でしたが、今日の達成感に目もとも潤んでみえましたが、そんなに感激したのでしょうか。幹事冥利につきるというものです。

大広間で打ち上げを行い、おおいに盛り上がりました。帰りの電車で磯部さんが携帯電話を失くしましたが、これはご愛敬としておきます。

皆さん一日ご苦労さまでした。これからもハイキング同好会を宜しく願いいたします。